



ROTARY INTERNATIONAL DISTRICT 2550

〒320-0066 宇都宮市駒生1丁目1番6号 コンセーレ (栃木県青年会館)
CONCERE 1-1-6 KOMANYU UTSUNOMIYA CITY TOCHIGI JAPAN 320-0066

(2014~2015) ROTARY CLUB OF UTSUNOMIYA SATSUKI

TEL 028-624-1417 FAX 028-624-1843 URL <http://www.>

宇都宮さつきロータリークラブ 会報

第 39 回 例 会

日 時: 2015年5月25日(月)

19:00~20:00

会 場: コンセーレ

・開会 池田 光一 SAA

・点鐘 和知 孝道 会長

・ロータリーソング斉唱 (奉仕の理想)

・ビジター紹介 和知 孝道 会長

飯村愼一直前ガバナー、佐藤節特別代表(宇都宮陽北RC)、
職業奉仕委員会 遠藤 幸一委員長(小山東RC)

・会長挨拶 和知 孝道 会長

皆さん今晚は、5月18日(月)は休会でしたので、1週間空いただけで、しばらく皆さんとお会いしてないような気がいたします。本日は、久我臣仁会員お誕生日おめでとうございます。第40回例会として、5月28日(木)にホテルニューイタヤで、宇都宮陽南ロータリークラブとの合同例会がありますので、皆さんよろしくお願ひいたします。5月29日(金)には、今年度最後の会長・幹事会があります。2015~2016年度、夏目公彦会長、湯澤敦史幹事とともに出席をしております。更に30日(土)には東京御苑ロータリークラブのチャーターナイトに夏目公彦会長エレクトと出席をしております。週末にかけてロータリーづくしですが、これをもって今年度の行事ごとはほとんど終了したと、一安心をしております。本日は、地区職業奉仕委員長の遠藤幸一様から卓話をいただきます。しっかり学んで参りましょう。それでは進行宜しくお願ひいたします。

・幹事報告 三森 富雄 幹事

- ・出席率について、2014年7月からの累計では87.01%です。2015年4月の出席率は、89.77%と比較的良好な数字でした。ぜひ90%を目指しましょう。参考に、2015年2月の地区平均は、85.37%です。
- ・メイクアップした場合は、翌月10日までに、前月分のメイクアップをメールにて必ずお知らせ願ひます。そうしないと、メイクアップは認められません。また、最近Eクラブへのメイクアップも少し増えてきました。石田朋靖会員が最初で、石川均副会長、内仲祐介国際奉仕委員長、久我臣仁会員がメイクアップされています。他の会員も、是非、ご活用願ひます。
- ・第40回例会として、5月28日(木)にホテルニューイタヤで、宇都宮陽南ロータリークラブとの合同例会があります。合同例会はお客様ではなく、我々も主催者ですので、それぞれの役割分担を果たして頂くよう、お願ひいたします。また、出席者は本日現在で、吉川泰行様含めて15名です。これで、確定とさせていただきます。

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを

- ・飯村慎一直前ガバナー(宇都宮 90RC) 職業奉仕遠藤幸一委員長の卓話、よろしくお願いいたします。
- ・佐藤節特別代表(宇都宮陽北 RC) 遠藤幸一委員長の卓話、よろしくお願いいたします。
- ・和知孝道会長 職業奉仕遠藤幸一委員長、本日はよろしくお願いいたします。
- ・三森富雄幹事 職業奉仕遠藤幸一委員長、本日はよろしくお願いいたします。
- ・齊藤昇吾 5月24日(日)第41回ローターアクトクラブ地区大会が、森林公園で開催されました。ローターアクト戸崎勝彦委員長や、出席者の皆様と一緒に食べたバーベキューの味は格別でした。

1. 職業奉仕の第1は、例会に出席すること。

ロータリークラブは職業を絆とする人達の集まりですから、まず何よりも会員各自がその職業に関係する全ての人々の立場に立ち、高い倫理観をもって職業活動を行なうことです。そのような会員を育てる道場が、ロータリークラブであり毎週の例会です。例会での異分野の人たちとの交流を通して自己の道徳的能力、専門的能力を高め、その成果を職場に持ち帰って職場の人達やその関係者の能力向上に努め、その成果を再び例会に持ち込んで、異分野の会員と情報交換するということの繰り返しで、自己の道徳的、専門的能力を高めていくのが、例会出席の意義です。そのためのプログラムの立案・実行が、クラブ職業奉仕委員会の大切な役割です。

2. 職業奉仕の第2は、4つのテストの実施

職業倫理について世界で最も広く印刷され、引用されている文章の一つに、ロータリーの「四つのテスト」があります。これは、1932年にロータリアンのハーバード・テイラーが、当時破産の危機に直面していたシカゴのクラブ・アルミニウム社の経営を引き受けるよう要請された時に創案したものです。経営難のこの会社を救う方法を模索していたテイラーは、従業員全員が仕事において守るべき24単語の倫理規定をつくりました。この「四つのテスト」が販売、生産、宣伝、業者・顧客関係における指針となり、この会社は倒産の難を逃れましたが、それはこのシンプルな哲学に負うものでした。

ハーバード・テイラーは1954-55年度の国際ロータリー会長となりましたが、この四つのテストが1943年にロータリーに採用され、その後、100カ国語以上に翻訳され、何千もの形で発行されてきました。このメッセージはすべてのロータリアンが知り、守るべきものです。

「四つのテスト」

言行はこれに照らしてから

1. 真実かどうか？
2. みんなに公平か？
3. 好意と友情を深めるか？
4. みんなのためになるかどうか？

3. 職業奉仕の第3は、近江商人の三方よし

近江商人の心得として生まれた「売り手よし、買い手よし、世間よしの三方よし」です。ロータリーの「四つのテスト」を一つ一つ見ていくと、「真実かどうか？」は嘘や偽りがないかということですから、「売り手よし」につながります。「みんなに公平か？」は公正な取引かと言い換えられますから、「買い手よし」につながります。「好意と友情を深めるか？」は信用を高められるか、「みんなのためになるかどうか？」は取引先の利益を重視しているかということですから、「世間よし」につながります。



職業奉仕委員会 遠藤幸一委員長

・ 点鐘

和知 孝道 会長

・ 閉会

池田 光一 SAA

LIGHT UP ROTARY

ロータリーに輝きを